



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 9 号
令和 3 年 5 月 10 日

いよいよ体育祭

校長 古市 直彦

5月6日、体育祭に向けての予行演習を行いました。体育祭本番に向けて、全体の流れや、各係の仕事内容を確認することが目的でした。前の週に予定していた全体練習が、雨が降ったり、グラウンドコンディションが悪かったりしたことにより十分にできなかつたのですが、それを挽回しようと、一生懸命動き回る生徒の姿が印象的でした。

本年度の体育祭は、明日、千葉県総合スポーツセンターの陸上競技場で開催いたします。

初めて、本校のグラウンド以外の場所で行う体育祭ですので、練習通りに進まなかったり、想定外のハプニングが起きてしまったりするかもしれません。それでも、本校の生徒は、体育祭のスローガン通り「剛・華」な体育祭にしようと、全力で取り組んでくれるものと確信しております。

登下校の際にも、職員をモノレール各駅に配置したり、分担して同乗したりして、生徒の安全確保にはできる限りの対応をしたいと思っています。当日の体調不良等で欠席される場合は、保護者の方が、7時30分から8時10分の間に学校までお知らせください。電話（☎232-6125）でも、「すぐーる」での連絡でも構いません。

千葉市でも、新型コロナウイルス感染拡大防止のための「まん延防止等重点措置」が延長され、保護者の皆様にはご心配をおかけいたしますが、お時間がございましたら、ぜひ、会場まで足を運んでいただき、生徒に応援の拍手を送っていただけたらと思います。よろしくお願い致します。



写真…一生懸命、係の仕事に取り組む生徒たち

主な行事の様子です

生徒総会（5月6日）

今年の生徒総会も、テレビ画面を通しての実施としました。全校生徒が集まって議論をすることができないのは残念でしたが、生徒会本部役員や議長・副議長、専門委員長や学年生徒会長の真剣に取り組む姿が見られましたし、事前に学級討議を重ねていたこともあり、内容も例年と同様に濃いものとなりました。今年の生徒会活動のスローガンは「実践躬行」です。コロナ禍で活動に制限がかかった状態が続いていますが、その中でも、できる限りのことをしていこうと意欲を見せてくれています。活動ぶりが楽しみです。



お知らせ

市教委より

千葉市教育委員会では、相談員が子どもたちの悩みや不安などの相談にのる「子どもにここサポート」を実施しています。相談内容は体罰、性的な嫌がらせ、いじめなどについてです。相談方法は電話相談と手紙相談があります。

手紙相談用紙は年4回（4月、7月、10月、12月）配付しています。本校では、1回目の配付を4月30日（金）に行いました。手紙相談用紙は切手を貼らなくても届きます。また、いつでも相談できるように相談用紙は中学校のカウンセリングルーム前やお近くの公民館に置いてあります。千葉市教育委員会ホームページからも用紙をダウンロードすることができますので、お知らせいたします。



県教委より

この度、「千葉県版不登校児童生徒・保護者のためのサポートガイド」が作成されました。詳細は、右記の2次元バーコードを読み取り、ご覧ください。なお千葉県教育委員会のホームページからも、直接ご覧になれます。

不登校は、どの子にも起こりえます。問題行動ではありません。休養や自分を見つめ直すときが必要なこともあります。あせらず、一人で悩まず、一緒に考えましょう。（サポートガイドより引用）



生花ボランティア紹介

地域にお住まいの__様が、時折、ボランティアで校内に生花をいけに来てくださっています。校内に生花があることで、雰囲気明るくなりますし、季節を感じることもできます。生徒の情操も豊かになります。心から、感謝申し上げます。ありがとうございます。

